

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-265333

(43)Date of publication of application : 18.09.2002

(51)Int.Cl.

A61K 7/02

(21)Application number : 2001-070997

(71)Applicant : SHISEIDO CO LTD

(22)Date of filing : 13.03.2001

(72)Inventor : TOMITA KIKO

SAKURAI TADASHI

(54) OILY COSMETIC FOR HIDING UNEVENNESS OF SKIN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a smooth oily cosmetic capable of hiding unevenness of the skin such as pores of the skin, wrinkles or texture without deteriorating a feeling of the bare skin and transparency, increasing the lightness of the skin and preventing dullness of the skin and further having excellent usability.

SOLUTION: This oily cosmetic is obtained by formulating a spherical powder of an alkyl polymethacrylate and a volatile silicone oil.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

Best Available Copy

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-265333

(P2002-265333A)

(43) 公開日 平成14年9月18日 (2002.9.18)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テ-ロ-ド* (参考)

A 6 1 K 7/02

A 6 1 K 7/02

Z 4 C 0 8 3

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-70997(P2001-70997)

(22) 出願日 平成13年3月13日 (2001.3.13)

(71) 出願人 000001959

株式会社資生堂

東京都中央区銀座7丁目6番5号

(72) 発明者 富田 希子

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 株

式会社資生堂リサーチセンター (新横浜)

内

(72) 発明者 桜井 紀

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 株

式会社資生堂リサーチセンター (新横浜)

内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 肌の凹凸隠し用油性化粧料

(57) 【要約】

【課題】本発明の油性化粧料は素肌感や透明感を損なうことなく毛穴、しわ、きめ等の肌の凹凸を隠し、また、肌全体の明度を上げ肌のくすみを防ぐことができ、更に滑らかで使用性に優れた油性化粧料を提供することを目的とする。

【解決手段】球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末と揮発性シリコン油を配合した油性化粧料。

(2)

特開2002-265333

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末を10～50質量%と揮発性シリコン油を10～50質量%含有することを特徴とする肌の凹凸隠し用油性化粧料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末と揮発性シリコン油を配合した油性化粧料に関するものであり、さらに詳しくは球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末と揮発性シリコン油を配合することにより、素肌感や透明感を失うことなく毛穴、しわ、きめ等の肌の凹凸を隠し、また肌全体の明度を上げ肌のくすみを防ぐことができ、しかも塗布中によれがなくなめらかな使用感を有する油性化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の油性化粧料は、ファンデーション類でも判るように油分、ワックス、粉末系から構成されており、その使用特性には限界があり、明確な差別化が困難なことは周知の事実である。また、ファンデーションの重要機能である「肌の欠点をカバーすること」に対し、肌の毛穴等の凹凸部分にファンデーションを埋め込むことによって毛穴等の補正を行う、チタン等のカバー力にたより色むらや肌のくすみを隠すという仕上げ方法が採用された。しかし、このようなファンデーションは肌を隠蔽し、厚塗りになるため、本来の人間の肌にある箱の赤みや透き通ったような白い肌の特徴はすべて失われてしまう。このため最近ではカバー力よりもむしろ透明感や素肌感を求める声が多く、自分の素肌を活かしながら欠点だけは隠すことができる素肌感覚のファンデーションに対する要望が強くなっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末と揮発性シリコン油を配合することによって、素肌感や透明感が失われず、素肌を活かしたまま毛穴、しわ、きめ等の肌の凹凸、くすみといった欠点のみが隠される油性化粧料を提供することによる。また、乳化型化粧料に比較し汗、水に対する化粧持ちや、しっとりさやなめらかさの持続性が高く、自然な艶やフォギー感等の仕上がり効果も優れる。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明者らは前期課題を解決すべく鋭意検討をした結果、球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末と揮発性シリコン油を配合することで従来とは異なる透明感を有し毛穴、しわ、きめ隠し効果の高い油性化粧料が得られ、しかも塗布中によれがなくなめらかな使用感を有することを見出した。

【0005】 すなわち、本発明は球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末10～50質量%と揮発性シリコ

2

ン油10～50質量%配合することを特徴とした、毛穴、しわ、きめ等の肌の凹凸を隠す効果が高く、更に使用性に優れた油性化粧料である。

【0006】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の構成について詳述する。

【0007】 本発明に用いられる球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末は、メタクリル酸のアルキルエステルの重合体または架橋体であり、アルキルエステルとしてはメチルエステル、エチルエステルが挙げられる。好ましくは架橋型球状ポリメタクリル酸メチル（ガンツ化成社製ガンツパールGMX-0810、松本油脂製薬社製マイクロスフェアM-306）、球状ポリメタクリル酸メチル（松本油脂製薬社製マイクロスフェアM-100）で、平均粒子径が3～18μmである。これらの球状粉末は削形に応じて、未処理品あるいは疎水化処理品を使うことができる。

【0008】 球状ポリメタクリル酸アルキルエステル粉末の配合量は化粧料全量に対して、10～50質量%であり、好ましくは15～30質量%である。この量であれば毛穴や肌の凹凸を隠し、しかも塗布中によれがなくなめらかな使用感を有する。10質量%未満であると毛穴を隠し、きめを整える効果が不十分となり、50質量%以上では塗布中によれが生じやすくなる。

【0009】 本発明に用いられる揮発性シリコン油としては、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン等があげられ、配合量は10～50質量%が好ましい。10質量%以下であるとのびが重くなり、なめらかさに欠け、50質量%以上であると、しっとり感がなくなりフィット感に欠けた仕上がりとなる。

【0010】 また本発明の油性化粧料には、上記成分に加え必要に応じ、水、粉末、油分、ワックス、界面活性剤、低級アルコール、多価アルコール、保型剤、防腐剤、被膜剤以外的高分子、酸化防止剤、紫外線防御剤、香料、各種薬剤等を本発明の所期の効果を損なわない質的、量的範囲で配合することが可能である。

【0011】 本発明に配合されうる粉末としては、通常化粧料において用いられる粉末を挙げることができる。例えば、タルク、カオリン、雲母、絹雲母（セリサイト）、白雲母、黒雲母、金雲母、合成雲母、パーミキュライト、炭酸マグネシウム、炭酸カルシウム、ケイ酸アルミニウム、ケイ酸バリウム、ケイ酸カルシウム、ケイ酸マグネシウム、タンタム酸マグネシウム、マグネシウム、シリカ、ゼオライト、硫酸バリウム、焼成硫酸カルシウム、焼セッコウ、リン酸カルシウム、フッ素アパタイト、ヒドロキシアパタイト、セラミックパウダー、金属微粉（ミリスチン酸亜鉛、パルミチン酸カルシウム、ステアリン酸アルミニウム等）の無機粉末、ポリアミド樹脂粉末、ポリエチレン粉末、ポリメチルシルセスキオ

(3)

特開2002-265333

3

キサン粉末、架橋型シリコーン樹脂粉末、ポリスチレン粉末、スチレン-アクリル酸共重合体樹脂粉末、ベンゾグアミン樹脂粉末、ポリ四フッ化エチレン粉末、セルロース粉末、二酸化チタン、酸化亜鉛等の無機白色顔料、酸化鉄（ベンガラ）、チタン酸鉄等の無機赤色顔料、γ-酸化鉄等の無機褐色顔料；黄酸化鉄、黄土等の無機黄色顔料、黒酸化鉄、カーボン、低次酸化チタン等の無機黒色顔料、マンゴバイオレット、コバルトバイオレット等の無機紫色顔料、酸化クロム、水酸化クロム、チタン酸コバルト等の無機緑色顔料、群青、紺青等の無機青色顔料、酸化チタン被覆マイカ、酸化チタン被覆オキシ塩化ビスマス、酸化チタン被覆タルク、若色酸化チタン被覆マイカ、オキシ塩化ビスマス、魚鱗等のパール顔料、アルミニウムパウダー、銅パウダー等の金属粉末顔料、赤色202号、赤色205号、赤色220号、赤色228号、赤色405号、橙色203号、橙色204号、黄色205号、黄色401号、黄色404号等の有機顔料；赤色3号、赤色104号、赤色227号、赤色401号、橙色205号、黄色4号、黄色202号、緑色3号、青色1号等のシリコンウム、バリウム、アルミニウムレーキ等の有機顔料、クロロフィル、β-カロチン等の天然色素が挙げられる。

【0012】本発明の油性化粧料に配合され得る油分としては、通常化粧料において用いられる油分を挙げることができる。例えば、液体油脂として、アボガド油、ツバキ油、マカデミアナッツ油、ミント油、オリーブ油、ヒマシ油、ホホバ油、トリグリセリン、トリオクタノ酸グリセリン等；固体油脂として、ヤシ油、硬化ヤシ油、パーム油、牛脂、羊脂、モクロー、硬化ヒマシ油等；ロウとして、ミツロウ、キャンデリラロウ、カルナバロウ、イボタロウ、鯨ロウ、ラノリン、還元ラノリン等、炭化水素として、流動パラフィン、スクワレン、パラフィン、セレシン、ワセリン、スクワレン、マイクロクリスタリンワックス等；高級脂肪酸として、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ペヘン酸、オレイン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、イソステアリン酸、リノール酸、リノレイン酸等；高級アルコールとして、ラウリルアルコール、セチルアルコール、ステアリルアルコール、ペヘニルアルコール、オレイルアルコール、モノステアリルグリセロールエーテル、モノパルミチルグリセロールエーテル、コレステロール、フィトステロール、イソステアリルアルコール等；エステル油として、ミリスチン酸イソプロピル、オクタノ酸セチル、ミリスチン酸オクチルデシル、ステアリン酸ブチル、オレイン酸デシル、ジオクタノ酸エチレングリコール、リンゴ酸次イソステアリル、トリオクタノ酸トリメチロールプロパン、トリイソステアリン酸トリメチロールプロパン、テトラオクタノ酸ペンタエリスリトール、トリオクタノ酸グリセリン、トリイソステアリン酸グリセリン、酢酸エチル、酢酸ブチル、酢酸ア

4

ミル等；シリコーンとして、ジメチルポリシロキサン、メチルフェニルポリシロキサン、メチルハイドロジェンポリシロキサン、オクタメチルシクロテトラシロキサン、3次元網目構造を形成しているシリコーン樹脂、シリコーンゴム等が挙げられるが、上記の油分に限定されるものではない。またこれら油分は、本発明の油性化粧料において1種あるいは2種以上を任意に選択して用いることができる。

【0013】本発明に配合されうる界面活性剤としては、親油性非イオン系界面活性剤としては、例えば、ソルビタンモノイソステアレート、ソルビタンセスキオレート等のソルビタン脂肪酸エステル、モノステアリン酸グリセリン等のグリセリンポリグリセリン脂肪酸類、モノステアリン酸プロピレングリコール等のプロピレングリコール脂肪酸エステル、硬化ヒマシ誘導体、グリセリンアルキルエーテル等が挙げられる。親水性非イオン系界面活性剤として例えば、POEソルビタンモノステアレート等のPOEソルビタン脂肪酸エステル類、POEソルビットモノオレート等のPOEソルビット脂肪酸エステル、POEグリセリンモノイソステアレート等のPOEグリセリン脂肪酸エステル類、POEステアリルエーテル、POEコレスタノールエーテル等のPOEアルキルエーテル、POEノニルフェニルエーテル等のPOEアルキルフェニルエーテル、ブルロニック等のブルアロニック型類、POE・ポリオキシプロピレン（以下、POPと略する）セチルエーテル等のPOE・POPアルキルエーテル、テトロニック等のテトラPOE・テトラPOPエチレンジアミン複合体、POEヒマシ油、POE硬化ヒマシ油等のPOEヒマシ油硬化ヒマシ油誘導体、POEミツロウ・ラノリン誘導体、アルカノールアミド、POEプロピレングリコール脂肪酸エステル、POEアルキルアミン、POE脂肪酸アミド、ショ糖脂肪酸エステル、POEノニルフェニルホルムアルデヒド縮合物、アルキルエトキシジメチルアミンオキシド、トリオレイルリン酸等が挙げられるが、上記の界面活性剤に限定されるものではない。また、これら界面活性剤は、本発明の油性化粧料において1種あるいは2種以上を任意に選択して配合することができる。また、本発明に配合しうる紫外線吸収剤としては、例えば、オクチルメトキシシンナメート、4-tert-ブチル-4'-メトキシベンゾイルメタン、オクチルトリアゾン、微粒子二酸化チタン、微粒子酸化亜鉛等が挙げられる。

【0014】本発明の油性化粧料は、クリーム状、中皿式固形状、スティック状等の形態をとる。

【0015】

【実施例】次に本発明について、実施例を挙げてさらに具体的に説明する。なお、本発明はこれらの実施例のみに限定されるものではない。配合量は特に断りがない限り質量%で示す。

(4)

特開2002-265333

5

5

【0016】

* * 【表1】

部分用スティックファンデーション

		実施例	比較例				
			1	2	3	4	5
1	カルナバウ	05	05	05	05	05	05
2	キャンナワウ	05	05	05	05	05	05
3	セレン	8	8	8	8	8	8
4	デカメチルシクロペンタシロキサン	5	5	5	5	5	-
5	トリメチルシクロペンタシロキサン	20	20	20	20	20	-
6	シメチルホリシロキサン(20c8)	5	5	5	-	5	30
7	リンゴ酸ジイソステアリン	10	10	10	-	10	10
8	トリオクタノール	残余	残余	残余	残余	残余	残余
9	オクタノール	1	1	1	1	1	1
10	セスキイソステアリン酸エステル	12	12	12	12	12	12
11	酸化チタン	1	12	11	1	1	1
12	シリカ	12	20	12	-	12	12
13	珪酸ナトリウム	-	-	-	-	20	-
14	珪酸ナトリウム珪酸アルミニウム (カッパ化成工業、カッパ-KG-081Q)	20	-	8	80	-	20
15	カオリン	4	4	4	-	4	4
16	α-トコフェロール	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
17	香料	適量	適量	適量	適量	適量	適量

【0017】<製法>表1に示す6～10及び16、17を加熱混合後、11～15を添加し、ディスパー分散する。このものを特殊酸化剤TKミル処理し、85℃に加熱する。あらかじめ均一に加熱混合した1～3、及び4、5をこれに加え混合後脱気する。所定のスティック容器に充填後、5℃にて急冷し成型した。

【0018】<効果>表1に示すサンプルを女性専門パ※

※ネル(10名)による実使用試験により官能評価した。実使用試験による使用性は、毛穴、しわ、きめ隠し効果、塗布中のよれ、仕上りの透明感、なめらかさ、肌へのフィット感、しっとりさを表2の基準で評価した。その結果を表3に示す。

【0019】<使用性の評価基準>

【表2】

評価	1	2	3	4	5
毛穴隠し効果	効果ない	やや効果ない	普通	やや効果ある	効果ある
しわ、きめ隠し効果	効果ない	やや効果ない	普通	やや効果ある	効果ある
塗布中のよれ	よれる	ややよれる	普通	ややよれない	よれない
仕上りの透明感	ない	ややない	普通	ややある	ある
なめらかさ	ない	ややない	普通	ややある	ある
肌へのフィット感	ない	ややない	普通	ややある	ある
しっとりさ	ない	ややない	普通	ややある	ある

【0020】<判定>

◎ : 評点の平均値が4.5以上

○ : 評点の平均値が3.5以上4.5未満

△ : 評点の平均値が2.5以上3.5未満

★× : 評点の平均値が1.5以上2.5未満

×× : 評点の平均値が1.5未満

【0021】

★ 【表3】

	実施例	比較例				
		1	2	3	4	5
毛穴隠し効果	◎	××	△	○	○	△
しわ、きめ隠し効果	◎	××	△	○	○	△
塗布中のよれ	◎	△	○	×	○	○
仕上りの透明感	◎	××	×	△	○	○
なめらかさ	◎	△	△	×	○	×
肌へのフィット感	◎	△	△	××	△	△
しっとりさ	◎	△	○	×	×	◎

【0022】表3から、本発明の実施例は、毛穴、しわ、きめ隠し効果、塗布中のよれ、使用感等が優れていることがわかる。

☆【0023】以下、本発明の他の実施例をあげる。単位は全て質量%である。

☆ 【0024】

実施例2スティックファンデーション

(1) セレン	5
(2) カルナバウ	1
(3) セスキイソステアリン酸ソルビタン	2
(4) スクワラン	残余

(5)

特開2002-265333

7

8

(5) オクチルメトキシシンナメート	2
(6) デカメチルシクロペンタシロキサン	20
(7) ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	20
(8) マイカ	2
(9) カオリン	2
(10) 球状ポリメタクリル酸メチル	30
(ガンツ化成社製、ガンツパールGMX-0810)	
(11) 酸化チタン	8
(12) 酸化鉄系顔料	3.9
(13) ヘリンドンP50%タルクベース	0.9
(14) δ-トコフェロール	0.05
(15) 香料	適量

<製法> 3～5及び14、15を加熱混合後、8～13 *する。所定のスティック容器に充填後、5℃にて急冷し
を添加し、ディスペー分散する。このものを特殊機化製 成型した。

TKミル処理し、85℃に加熱する。あらかじめ均一に 【0025】

加熱混合した1、2及び6、7をこれに加え混合後脱気*

実施例3 コンパクト状ファンデーション

(1) マイクロクリスタリンワックス	2
(2) セレシン	4
(3) カルナバロウ	1
(4) ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	15
(5) スクワラン	残余
(6) メチルポリシロキサン (6CS)	10
(7) トリオクタン酸グリセリル	8
(8) ソルビタントリオレート	1.5
(9) 球状ポリメタクリル酸メチル	25
(ガンツ化成社製、ガンツパールGMX-0810)	
(10) 酸化チタン	5
(11) 酸化鉄	4
(12) セリサイト	3
(13) マイカ	3
(14) δ-トコフェロール	0.1
(15) 香料	適量

<製法> 5～8及び14、15を加熱混合後、9～13 ※加熱混合した1～3、及び4をこれに加え混合後脱気す
を添加し、ディスペー分散する。このものを特殊機化製 る。所定の中皿に充填後、5℃にて急冷し成型した。

TKミル処理し、85℃に加熱する。あらかじめ均一に※ 【0026】

実施例4 固形油性アイシャドー

(1) カルナバワックス	1.5
(2) 固形パラフィンワックス	6
(3) デカメチルシクロペンタシロキサン	5
(4) ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	10
(5) スクワラン	残余
(6) グリセリルジイソステアレート	10
(7) ソルビタンモノイソステアレート	2
(8) セリサイト	10
(9) カオリン	10
(10) 酸化チタン	2
(11) 球状ポリメタクリル酸メチル	20
(ガンツ化成社製、ガンツパールGMX-0810)	
(12) 酸化鉄顔料	3

(6)

特開2002-265333

9

10

(13) 群青

2.5

(14) δ-トコフェロール

0.05

(15) 香料

適量

<製法> 5～7及び14、15を加熱混合後、8～13を添加し、ディスパー分散する。このものを特殊機化製TKミル処理し、85℃に加熱する。あらかじめ均一に加熱混合した1、2及び3、4をこれに加え混合後脱気する。所定のスティック容器に充填後、5℃にて急冷し成型した。

*【0027】

【発明の効果】本発明の油性化粧品は素肌感や透明感を損なうことなく毛穴、しわ、きめ等の肌の凹凸を隠し、また、肌全体の明度を上げ肌のくすみを防ぐことができ、更に滑らかに使用性に優れた油性化粧品を提供する。

*

フロントページの続き

Fターム(参考) 4C083 AA122 AB232 AB242 AB432
 AC012 AC022 AC342 AC372
 AC422 AC442 AC842 AD091
 AD092 AD151 AD152 AD172
 CC05 CC11 CC14 DD11 DD31
 EE06

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.